

鋸南

トークイベントに31人来場

吉良康矢さんと
粕谷智美さん
ウガンダへの思い語る



ウガンダを語る吉良さん(左端)=鋸南

鋸南町保田の「鋸南 エアルポルト」でこのほど、「ウガンダはどんなところ」と題したトークイベントが開催され、町内外から31人が来場した。

前半は吉良さんが、空想で描いたウガンダの路上風景のイラストをスライドで映して、実際にウガンダを訪れたことのある粕谷さんによる現地の写真と解説つきで、参加者と一緒にウガンダへの旅を楽しんだ。

後半は粕谷さんが、安房地域の高校生たちが早い段階からウガンダに対し、衣服や文房具を送るなど交流を続けてきたことを紹介。旧安房南高校に始まるウガンダへの支援と交流は、安房高校を経て、現在は安房西高校

こと、今年にはコロナウイルスの影響でいっそう辞めてしまう子が増えているので、早く落ち着いて学校に通えるようになってほしいと話した。

トークイベントを終えて、吉良さんは「行ったことのないウガンダへ行ったことがあるように話すのはやさしいけど、本当に行ったらとがないのを話し続けるのは難しかった。スライドではインターネットの地図サービスを使わないことを課題にして、空想で描いたイラストと手づくりの

地図を準備したので、修学旅行の事前学習みたいに楽しめた。

吉良康矢さんの個展は8日まで、鋸南エアルポルトで開催中。会場は、施設開放時間

平日の午前10時から午後5時まで開館。土曜日の臨時開館もある。